

長野市復興だより ワン・ハート

ONE HEART



音楽で癒し、写真で伝える「被災地の今」

古里住民自治協議会

古里住民自治協議会では、令和3年3月に『古里版 安心・安全防災マップ(令和2年度保存版)』を発行。その後も、住民の防災意識向上や、各区の自主防災組織による防災訓練などを促進してきました。被災から2年の節目に、災害を振り返り、被災地の今を伝えるとともに、復興を支援しようと、復興祈念事業を実施。11月20日に古里総合市民センター多目的ホールで『2021 がんばろう古里!復興支援コンサート』を開催しました。

第一部は、長野市芸術館の協力による『お届け芸術館』として、長野県在住のプロの演奏家2組4名が出演し、歌とピアノ、箏などによる演奏を11曲披露。アンコールとして、この地域にふさわしい「ふるさと」が演奏されると、会場は皆の“心の歌”が響くような一体感に包まれました。第二部は、地元のコーラスグループ「ふるさとハーモニー」による合唱。約20名の会員がマスクを着用しながらも素敵なハーモニーを

披露。参加者からは、「コロナ禍で発表する機会がなかったので、皆さんの前で歌えてよかった」と喜びの声が聞かれました。

当日は、学習室にて、復興写真パネル展『被災地の今』を同時開催。参加した約100名の住民にとっては、美しい音楽に心を癒されるとともに、災害の記憶をたどり、2年の歳月に想いを馳せる機会となりました。

宮下富雄事務局長は、「コロナ禍での開催には、さまざまなハードルがありました。事前予約制で人数を制限し、感染防止対策を行った上で無事開催することができました。今後も、いつ発生するかわからない災害に対し、的確な対応ができるよう、日頃の備えの重要性を伝えていきたい」と話しました。

[INFORMATION]

古里住民自治協議会

長野市金箱635-16
TEL.026-295-9755

被災者の皆さまへ

① 仮設住宅から転居された後も生活支援相談員が皆さまのご自宅を訪問します

生活支援相談員が巡回訪問し、被災された皆さまの孤立防止に向けた見守りや、日常生活や今後の生活に向けたご相談に応じます。また、仮設住宅から転居された後でも引き続き応じます。お問い合わせ、ご相談等がございましたらお気軽にご連絡ください。

お問い合わせ先

社会福祉法人長野市社会福祉協議会 長野市生活支援・地域ささえあいセンター
〒380-0813 長野市大字鶴賀緑町1714-5 長野市ふれあい福祉センター2階
TEL: 026-219-5251 受付時間: 月～金(祝日・年末年始を除く)8:30～17:00

② 融資を受けて住宅再建を行う方へ 補助申請をお忘れなく

長野県では、災害により住宅に被害を受けた方が、住宅を再建するために住宅金融支援機構や民間金融機関から受ける融資に対し、その利子相当額の一部を補助していますが、**令和元年東日本台風災害により被災した一部の方について、補助対象融資に係る期限を延長しています。**

対象となる方	自己所有する住宅が被災し、住宅の建設・購入・補修に際して金融機関からの融資を受ける方のうち 世帯主または世帯主と同居する方
補助額	下記の利子相当額を一括で補助します。(限度額あり) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 建設・購入 …………… 20年借入を想定した場合の当初10年分 補修 …………… 10年借入を想定した場合の当初5年分 </div>
申請期限	<p>金銭消費貸借契約の「契約日の属する年度の3月31日」又は「契約日から半年」のいずれか遅い日まで</p> <p>例① 契約日: 令和3年9月10日 ⇒ 申請期限: 令和4年3月31日 例② 契約日: 令和3年10月10日 ⇒ 申請期限: 令和4年4月10日</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「契約日から半年」 「契約日の属する年度の3月31日」【遅い日】</p> <p>契約日① R3年9月10日 → R4年3月10日 → 期限 R4年3月31日</p> <p>契約日② R3年10月10日 → 「契約日の属する年度の3月31日」 → 「契約日から半年」【遅い日】 → 期限 R4年4月10日</p> </div>
対象融資	<p>住宅金融支援機構の融資: 令和4年11月30日※までに申込みを行った災害復興住宅融資</p> <p>民間金融機関の融資: 令和4年11月30日※までに貸付けを受けた融資</p> <p style="text-align: right;">※延長前…令和3年10月12日</p>
お問い合わせ先	長野県建設部建築住宅課 TEL: 026-235-7339

詳細は県ホームページ([長野県 災害復興住宅](#))で検索)で確認ください。

③ 住宅金融支援機構からのお知らせ



令和元年東日本台風の災害復興住宅融資の受付期限は **令和4年11月30日まで** となっています。

ご相談は、お客さまコールセンター(災害専用ダイヤル)0120-086-353(通話無料)へ

※災害復興住宅融資の受付期限は、原則として、り災日から2年間ですが、被災者生活再建支援金(加算支援金)の申請期限の延長等により、延長する場合があります。

④住宅の復旧に向けた現地調査や技術的アドバイスを継続して行っています

建築・住宅に関する様々なご相談に対して、
建築士等の専門家による現地調査や電話などによる技術的アドバイスを随時行います。
また、相談内容に応じて専門機関の紹介をします。まずは、お電話でご相談ください。

相談窓口	長野県建築相談連絡会(事務局:(公社)長野県建築士会) TEL:026-235-0561 http://www.nagano-kenchikushikai.org/soudan/
ご利用時間	10時～16時(土・日曜日、祝休日を除く)
お問い合わせ先	長野県建築相談連絡会(事務局:(公社)長野県建築士会) TEL:026-235-0561 建築指導課 TEL:026-224-5048

⑤被災地区農地対策について

①農地流動化助成金被災農地加算

現行の助成金単価に2千円/10aを加算します

令和元年東日本台風の浸水エリア内の借り手がない農地(青地)の荒廃化を防ぐため、農地の賃貸借を促し、担い手(人・農地プランの中心経営体、認定農業者、認定新規就農者)の農地を集約する取組を支援します。

②被災地区荒廃農地利活用補助金

優良農地への復元:補助率1/2以内又は10万円/10aのうち低い額
作物導入等:補助率1/2以内又は2万円/10aのうち低い額

被災地区(長沼、豊野、古里、篠ノ井、松代、若穂。ただし信里、西条、豊栄、保科は除く。)の荒廃農地(青地)を優良農地に復元する取組を支援します。

お問い合わせ先

農業政策課 TEL:026-224-5037



長野市復興祈念事業 がんばろうNAGANO2021

参加者からいただいた応援メッセージをご紹介します

台風災害への支援活動を通じて築かれた人の絆を育むことで今後の復興を祈念するため実施しました「長野市復興祈念事業 がんばろうNAGANO2021」にご参加いただいた皆さまから寄せられた被災地への応援メッセージをいくつかご紹介します。

1歩1歩自分たちの力を信じて進んでいることに、私もパワーをいただきました。これからも、応援しています。お身体大切にご活躍ください。
(市内の方より)

当時、支援活動で豊野などに行きましたが町の惨状に驚愕しました。まだ被災前の環境に戻ることができない方も多いと思いますが、一日でも早く復興されることを祈念いたします。
(県外の方より)

今も色々大変なことも多いかと思えます。辛いこともありますが必ず幸せなこともやってきます。皆さまの生活が以前のように豊かになることを願っています。頑張れながの!
(市内の方より)

コロナ禍、なかなか思うように運ばず大変な思いで再建されているとお聞きました。お身体に気を付けて、一日も早い復興を願っております。
(市内の方より)

ボクたちの市も被災しました。一緒にがんばりましょう。
(市外の方より)

被災から2年、個人、地域によって差が出てきてしまう苦しい時期だと思えますが、災害があったからこそ、再発見したまちの魅力や内外とのつながりを通じてまちの復興の歩みをなんとか進まれますようにいつも応援しています!
(県外の方より)

今後でもできる場所で支援ができればと思っています。災害を忘れずに生活をしていくためにも、被災地を応援しています。
(市内の方より)

パンフレットで一步一步復興へ進んでいるのだなと感じました。まだまだこれからの部分もあるのですが、美しく美味しい見所のいっぱいある長野を全力で応援します!
(県外の方より)

まだまだ道中ばだと思えますが、寒さに負けず進んでいってください。遠いところから、心ながら応援しています。
(市外の方より)



※スペースの都合上、一部メッセージを割愛しています。

17

さくら



待ってたよ、というお客さまの声に励まされて

JR豊野駅にほど近い八雲日和「うどん・おやき工房 さくら」は、障がいをもった方々の就労継続支援施設 (B型)として、うどん・おやきの製造販売を行っています。令和元年東日本台風の浸水被害からの復興状況について、施設を運営管理する(福)長野県社会福祉事業団の玉井靖人さんに伺いました。

八雲日和「うどん・おやき工房 さくら」
サービス管理責任者
玉井靖人 さん

被災の翌週から活動を再開

さくらは、平成28年4月に開設した2階建ての施設で、1階部分にうどんとおやきを作る工房が入っています。令和元年10月13日は日曜日で、休業日だったので、幸いなことに人的被害はありませんでしたが、1階部分は全て水に浸かり、駐車場にあった公用車3台を含む全ての物を失いました。とはいえ、約20名の利用者の皆さんの就労支援を止めるわけにはいかないので、翌週からは、被災を免れた同法人の施設の一室を借りて活動を再開。いつもとは異なる内職的な作業をしながら、なんとかつなぐ日々でした。運営側としては、満足いく工賃を払うことができず、苦しい状況でしたが、利用者さんに戸惑いや不安の顔はなく、逆に励まされるような状況でした。



天井まで浸水したうどん作業室

工房再開までの葛藤

私たちにとって、うどんとおやきの製造は生

命線でしたので、その製造ができなくなってしまった時は、非常に落胆しました。一時は、「やるかやらないか」というところまで追い込まれましたが、そんな時、背中を押してくれたのがお取引のあったお客さまからの「またお願いしたい」、「いつ再開するのか」、「待ってるよ」という声でした。



リニューアルした工房での作業風景

その後、改修工事を行い、令和2年6月に完了。被災前と若干異なる新しい機械で以前と同じ味が出せるように試作を重ね、準備しました。そして、7月から製造を再開。約9ヶ月のブランクがあったので、利用者さんが作業を忘れていないか、不安はありましたが、何の問題もなくスムーズに戻ることができました。

受注販売で売上を回復

コロナ禍での営業は、長野県の警戒レベルが3になった段階で、20名の利用者を2つのグループに分け、少人数で活動しています

(取材当時)。販売方法に関しては、被災以前は、契約店・施設以外にもフリー販売を行っていましたが、コロナ禍で対面販売をできるだけ減らすため、全てファックスによる受注販売に変えました。そうしたことで、思いの外、売上げはスムーズに回復し、食品ロスも減らすことができ、現在は、被災以前と変わらない売上げを確保できています。支えてくださったお客さま、地域の方に本当に感謝しています。これからもお客さまに喜んでいただけるうどんとおやきを作るとともに、若い世代にもその技術を受け継いでもらえるよう取り組んでいきたいと思ひます。



信州の地粉を使ったうどんとおやきは、粉の香りが高く、素朴な風味で地域に愛されている

(福)長野県社会福祉事業団 八雲日和「うどん・おやき工房 さくら」

長野市豊野町豊野360-1 TEL: 026-217-4123
営業時間: 9:00~17:00 定休日: 土・日曜、祝日
<https://nagano-swc.com/yagumo/>



長野市復興だより ワン・ハート

ONE HEART

Issue 16 令和4年2月 【発行】長野市企画政策部復興局復興推進課
電話: 026-224-9728 e-mail: fukko@city.nagano.lg.jp

詳しい情報、市からのお知らせは、右記のURLからご確認願ひます。URL: <https://www.city.nagano.nagano.jp/>

R70

古紙配合率70%以上の再生紙を使用しています